

小学校第6学年 音楽科学習指導案

日時 平成25年 []
 対象 []
 授業者 []

1 題材名 「日本語の詩に親しみ春と夏の情景を歌おう」

2 題材の目標

- (1) 日本語の美しさと情景を想像させる唱歌のよさや楽しさを味わう。
- (2) 歌詞の表す情景や旋律の高まりを感じ取り、歌い方を工夫する。

3 題材の評価規準

	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能
評価規準 題材の	日本の歌曲に関心を持ち、主体的に歌おうとしている。	歌詞の表す情景や旋律の高まりを感じ取り、歌い方を工夫している。	歌詞の内容、曲想を生かした表現で歌っている。
具体的な評価規準 学習活動に即した	歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	旋律、フレーズ、強弱を聴き取りそれらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、歌詞の内容、曲想などを生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて、自分の考えや願い、意図をもっている。	歌詞の内容を生かし、旋律、フレーズ、強弱を付けて歌っている。

4 指導観

(1) 題材観

高学年の児童は理解する力が一層向上し、作者及び作曲者の意図を探究して楽曲の理解を深めることができるようになる。また、心の中の様々な思いや考えを音楽を通して表現したり伝えたりすることができるようになり、自分の思いや意図が聴き手に明確に伝わる歌唱の表現ができるようになる。

そこで、本題材では歌詞の内容や曲想を生かしたり、音楽を形づくっている要素やその働きを鋭く感じ取ったりしながら表現を工夫することで、思いや意図をもって歌う能力を育成したい。

具体的には、文語体の歌詞の音読や言葉の理解からふさわしい歌い方を考え、フレーズのまとまりや旋律の動きの中に見られる高まりを生かしながら、強弱を付けた歌い方をする。友達と共に繰り返し歌いながら歌唱の能力を伸ばしたい。

(2)教材観

ア「おぼろ月夜」

(ハ長調 4分の3拍子 文部省唱歌 高野辰之作曲 岡野貞一作曲)

今日に至るまで歌い継がれてきた曲で6年生の歌唱共通教材である。

文語体の歌詞は田園の夕景を美しく歌い上げたもので春のゆったりとした曲想を感じ取れる。

旋律の高まりを感じ取ることができ、強弱を付けて表情豊かな歌い方を工夫することができる。

イ「われは海の子」

(ニ長調 4分の4拍子 文部省唱歌)

今日に至るまで歌い継がれてきた曲で6年生の歌唱共通教材である。

七五調定型詩による文語体の歌詞で海の子の心意気が力強く歌われている。生き生きとしたさわやかな曲想を感じ取れる。

旋律の高まりを感じ取ることができ、強弱を付けて表情豊かな歌い方を工夫することができる。

5 題材の指導計画と評価計画

次	時	◆ねらい ○学習内容 ・学習活動	評価規準・(評価方法)
第1次		◆日本の歌曲に関心を持ち、主体的に歌おうとする。	
	1	○歌詞の内容を理解し、歌詞の表す情景を思い浮かべる。 ・「おぼろ月夜」「われは海の子」の歌詞を音読し、大意をつかむ。 ・歌詞の表す情景を思い浮かべる。 ○曲全体の感じをつかむ。 ・CDを聴き歌詞唱する。 ・どのように歌ったらよいかについて、自分の考えや思いを学習カードに記入する。	【ア】 歌詞の内容を理解し、範唱を聴いて主体的に歌おうとしている。 (行動の観察)
第2次		◆歌詞の表す情景や旋律の高まりを感じ取り歌い方を工夫する。	
	2	○歌詞の表す情景にふさわしい歌い方を工夫する。 ・「おぼろ月夜」「われは海の子」のどちらかを選択し歌う。 ○強弱を付けた歌い方を工夫する。 ・教師のオルガン範唱を聴く。 ・教科書の楽譜を見て強弱を付けて歌う。 ・グループで強弱を付けて全曲歌う ・いくつかのグループの歌を聴く。 ・曲ごとに歌う。 ・全員で「おぼろ月夜」「われは海の子」を歌う。	【イー①】歌詞の内容に合った歌い方を工夫している。 (行動の観察) 【イー②】旋律の高まりを感じ取り強弱を付けた歌い方を工夫している。 (行動の観察)
	3	○歌詞の内容を生かし、強弱を付けて歌う。 ・歌詞の表す情景を思い浮かべ気持ちを込めて表情豊かに歌う。 ・録音した自分たちの歌を聴いて学習したことを振り返る。	【ウ】 歌詞の内容を生かし、強弱を付けて歌っている。 (演奏の聴取)

6 本時（第2時／全3時間中）

(1) 本時のねらい

○歌詞の表す情景や旋律の高まりを感じ取り、歌い方を工夫する。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準・ (評価方法)
導入 3分	<ul style="list-style-type: none"> 今日の学習のゴールイメージをもつ。 「おぼろ月夜」「われは海の子」にふさわしい歌い方を思い出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちよく歌えた自分に満足するように、歌い方の工夫をしていくことを伝える。 前時の学習カードから児童の意見を模造紙に書き出しておき、友達の考えを知り、自分の歌い方の工夫を再確認できるようにする。 	
展開 27分	<p>○歌詞の表す情景にふさわしい歌い方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「おぼろ月夜」「われは海の子」のどちらかを選択しCD（音源）の周りで歌う。 <p>○強弱を付けた歌い方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師の範唱を聴く。 <ul style="list-style-type: none"> 教科書の楽譜を見て強弱を付けて歌う。 グループで強弱を付けて歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> 選択の理由を尋ね、主体的に歌う気持ちにつなげる。 強弱を付けた演奏と付けていない演奏を行い、違いに気付かせる。 強弱をつけると気持ちが膨らむかどうか歌って確かめ、強弱を付けると気持ちがよいことに気付かせる。 グループ活動の途中で一度集め、互いに聴き合ったり、体の動きで強弱を表現したりしているよいグループを紹介し、さらに歌唱表現を深めていくように促す。 	<p>【イー①】歌詞の内容に合った歌い方を工夫している。 (行動の観察)</p>
まとめ 15分	<ul style="list-style-type: none"> 各曲毎に歌う。 気付いたことやよい点を発言する。 学習感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 聴き合うポイントを伝える。 歌い方の工夫をして、どんな気持ちになったか学習を振り返るように促す。 3人組で意見交換をして、自分の考えを広げてから記入させる。 	<p>【イー②】旋律の高まりを感じ取り強弱を付けた歌い方を工夫している。 (行動の観察)</p>